

次世代照明CCFLなどを 開発・販売

豊光社

http://hohkohsya.co.jp/



倉光宏社長のプロフィール

生年月日/1978年11月15日
出身地/福岡県
最終学歴/福岡大学工学部電気工学科
趣味/パソコン

「エコでありながら今までにない照明を世に出したい!」。そんな強い思いで省エネ性、省メンテナンス性、省スペース性を同時に実現したCCFL照明「solana」。売り上げ好調で、海外展開も進める倉光宏社長に話を伺った。

—— 会社の概要から。

倉光 まずは、プリント基板事業で、設計、製造、開発などを創業以来42年の本業として手掛けています。

2つ目が、電流センサ事業です。これは、直流電流、しかも微弱な電流測定にターゲットを絞り、「Picsor(ピクサー)」というブランド名で展開しています。

3つ目が、現在力を入れているCCFL照明の「solana(ソラナ)」の事業です。

—— CCFL照明「solana」とは。

倉光 これは、簡単に言えば省エネ照明です。液晶ディスプレイのバックライト光源として使われているCCFL「冷陰極管」を、電球や蛍光灯などの実用

照明に応用したのがコンセプトです。

特徴は、LEDと変わらない長寿命で約4万時間、1日12時間使っても10年以上もつ計算です。蛍光灯と付け替えた際に最大4割の省エネ効果が得られます。紫外線が全く出ていないことや、非常に軽量であることなど、LEDの同価格帯の製品と比べてもかなり特徴が出せるものとなっています。

—— 販売好調のようですね。

倉光 光の角度がかなりワイドに広がりますし、蛍光灯と同等以上という高い演色性も持っていますので、主に室内照明に向いています。弊社のお客さまでも、飲食店や高齢者がいらっしゃる施設、病院関係などの施設で採用をいただいています。節電対策をしたいけれども、光の質にもこだわりたい、そういうニーズにお応えすることができます。LEDよりも製造コストが安価というのでも大きな特徴です。

—— 「solana」の今後の展開として。

倉光 国内に関しては、全国に代理店展開もしておりますので、より加速していくと思われまふ。今年度は、東京にも拠点をつくりまふ。

特に力を入れているのが海外への販売です。大きくはアジア圏です。中でもタイに力を入れており、今年には現地法人をつくる展開も考えています。北九州市も弊社の製品をバックアップしてくださっていて、この海外展開に関しても北九州市から補助金を受けております。

照明は人種、国、性別など商品の売り先を全く選びませんが、国が変わっても宗教が違っても売ることができるので、全世界的に展開できる展望を考えています。

【会社データ】
創業/1969年
資本金/3千万円
従業員/28人
売上高/約14億円
所在地/北九州市